

# 令和6年における上富良野町の交通事故発生状況(人身事故のみ)

## 1. 交通事故発生件数と死傷者の状況

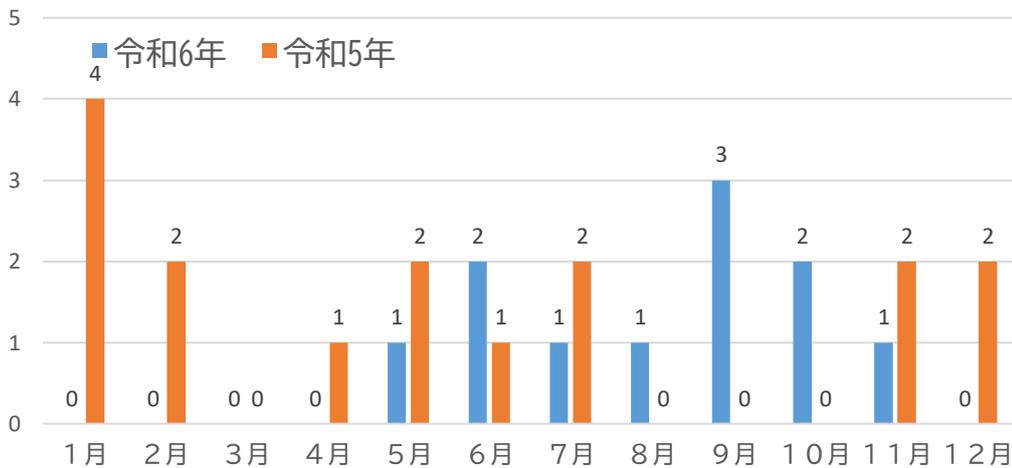
	件数	死者数	重症者数	軽傷者数
令和6年	11	0	3	10
令和5年	16	3	2	22
前年比	-5	-3	1	-12

交通事故死ゼロ日数 480日  
(令和6年12月31日時点)

上富良野町においては、令和6年中の死亡事故の発生はなかった。

しかしながら、町内においては依然として重大事故が発生しており、いつ死亡事故が発生するやもしれない。特に、自動車と歩行者による交通事故も発生していることから、交通安全の推進が重要である。

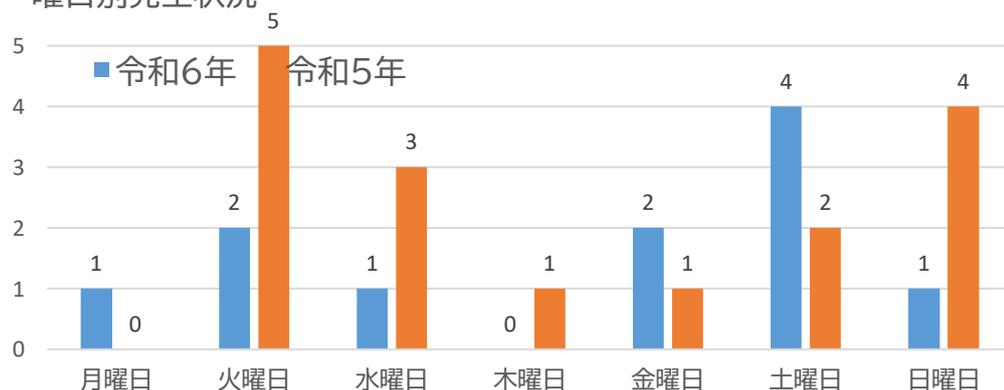
## 月別発生状況



令和5年、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、社会活動が活発化したことで外国人旅行者やレンタカーが増えている。

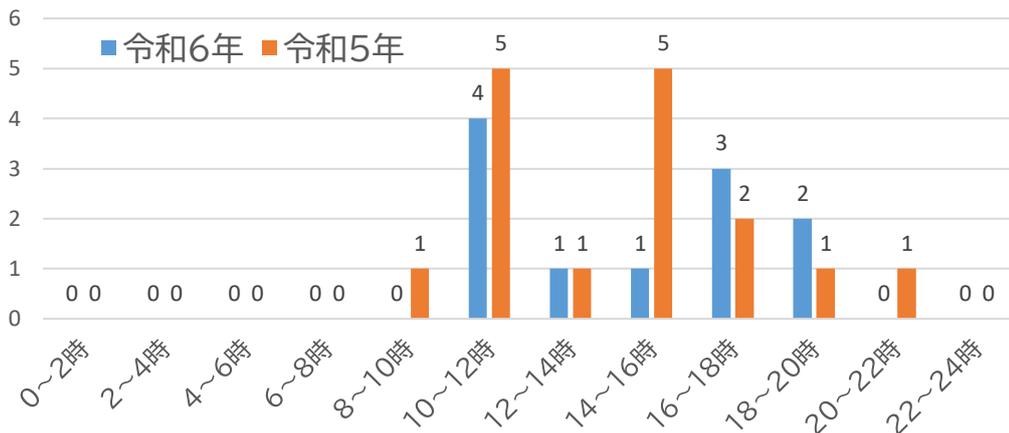
例年に比べ冬期における交通事故発生件数が減少している。

## 曜日別発生状況





## 時間別発生状況



事故の発生は、週末の発生が多い。第一当事者の運行目的では「観光・娯楽」と「通勤」がそれぞれ半数を占めていた。

事故が発生している時間帯は、夜間帯よりも日中の発生が多い。

## 2. 道路別の交通事故発生状況 (件数)

	国道	道道	町道	その他	合計
令和6年	0	10	0	1	11
令和5年	2	8	5	1	16
前年比	-2	2	-5	0	-5

交通事故の発生場所は、市街地よりも郊外での発生が多いことから、観光地から観光地までなどの通過型の事故となっている。

道道における交通事故の半数は十勝岳温泉と市街地を結ぶ道道吹上上富良野線となっている。

## 3. 事故発生現場の形態 (件数)

	交差点	カーブ	直線	その他	合計
令和6年	10	0	0	1	11
令和5年	12	1	3	0	16
前年比	-2	-1	-3	1	-5

事故の原因は、「一時不停止」が半数以上を占めており、交差点での出会い頭での事故が多い。

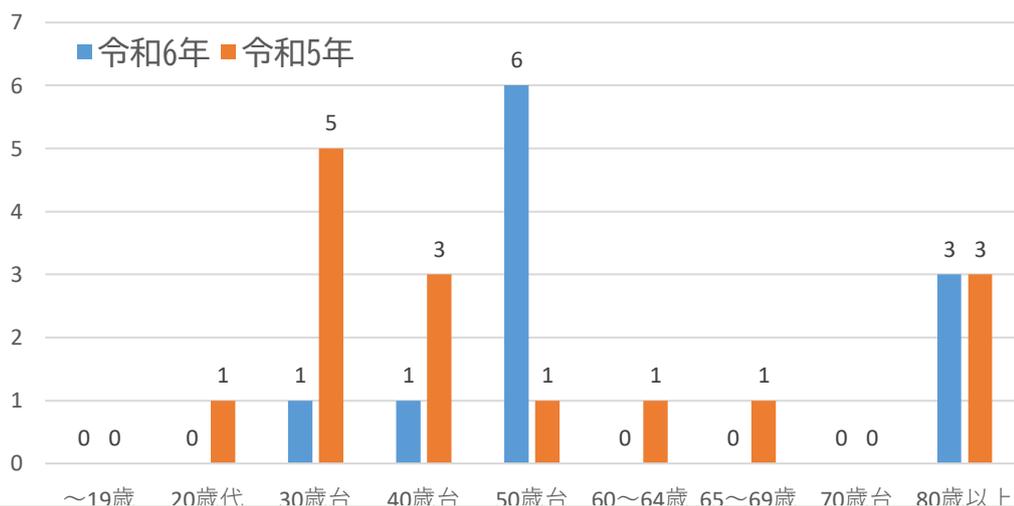
郊外では直線での割合が多くなり、見通しの良い直線道路でのスピードの出しすぎや

#### 4. 第一当事者（事故を起こした人）の居住地別発生状況（件数）

	町内	道内	道外	不明	合計
令和6年	5	4	2	0	11
令和5年	4	8	4	0	16
前年比	1	-4	-2	0	-5

社会活動が活発化したことで観光客が増加したことに伴い、町外に居住する者による事故の割合が多い。町内居住者と旅行者が絡む事故では、旅行者の一時不停止のケースが多い。

#### 5. 第一当事者（事故を起こした人）の年代別（人数）



これまで、65歳以上の高齢者による交通事故の件数が半数以上を占めていたが、ほぼ全ての年齢層で発生している。

#### 6. まとめ ～今後の交通事故対策～

- ・加齢に伴う身体能力の衰えを客観的に自己分析、または、家族の方に助言をもらい、事故を起こす前に運転免許の返納について考えてみましょう。
- ・車両運転者は、「かもしれない運転」で常に周囲の状況に気を配り危険を予知しながら運転しましょう。
- ・相手が気づいていなくても、自分が気づいていれば大半の事故は防ぐことができます。外を歩くとき、自転車に乗るとき、車に乗るとき、常に周囲に意識しましょう。
- ・自宅付近やいつも通勤などに使う慣れた道路でも油断は禁物です。交通事故は、いつ、どこで起きるかわからないことから、常に初心に帰った運転を心がけましょう。

